



データシート・エージェント・SPLIT AGENT

まとめた束が一つのファイルのままになっていませんか？ 書類は一件ずつ、正しく届きます。

Split Agent は、PDF の束の中で一つの書類がどこで終わり、次の書類がどこから始まるかを特定します。白紙のページは取り除き、添付書類はその主書類と一緒に残し、各部分にわかりやすい名前を付けてWorkspaceに保存します。受付、経理、法律事務所・税理士事務所向けです。

概要

PDF の束を入力すると、個別の書類として出力されます。それぞれにページ範囲、わかりやすい名前、信頼度が付きます。境界が不確かな場合は確認に回され、元の束は保管されます。

01・概要

一回のスキャン、多数の書類。 分割、命名、整理まで。

スキャナーは郵便物の山を一つのファイルにしてしまいます。これまでは、担当者がページを手で分け、一つずつ名前を付けて保存していました。Split Agent は、区切りシートがなくても内容から境界を検出し、対象Workspaceに書類を一件ずつ保存します。

入力

Workspaceの複数ページ PDF、アップロードされたファイル、または REST API から

結果

ページ範囲、ファイル名、分割の信頼度付きの個別の書類を、対象Workspaceに出力

段階

Basic、Premium、Ultra：境界と名前から AI による推論まで

利用方法

Web アプリ、REST API、MCP。すべてのプランに含まれます

**内容から境界を判断**

差出人、日付、レイアウト、書類の種類から、書類の終わりがわかります。「Page 2 of 3」のような印刷されたページ番号も確認の対象です。

白紙ページは除去

テキストのないすべてのページは、ページ画像として確認されます。白紙ページと区切りシートは取り除かれ、スタンプ、署名、メモのあるページは残ります。

添付書類は一緒に

「雇用契約書の別紙 1」のように予告された添付書類は、別の部分として保存されず、主書類に戻されます。

束ごとに一つのルール

自動検出または固定のルールを選択します。表紙、区切りコード、書類の種類の変更、N ページごと、ご自身の独自ルール（平易な言葉で記述）から選べます。

わかりやすいファイル名

書類の種類、日付、送り主から組み立てたパターンを自由に組み合わせられます。名前、種類、要約に使う言語を選択できます。

不確かな境界は確認へ

各部分には分割の信頼度が付きます。境界が不確かな場合、その書類はステータス「確認が必要」で確認キューに入ります。

02・仕組み

一度設定すれば、 どの束にも使えます。

Split Agent には、ルール、段階、言語、ファイル名、対象Workspaceを保存します。一度作成すれば、アプリまたは API から、選択した一つ以上の束に対して実行できます。

1 エージェントを作成

Document AI > Split Agent > Split Agent を作成 で、名前、段階、言語を選択してください。混在した束やスキャンには Premium をお勧めします。

2 ルールと出力先を設定

分割方法 でルールを選択します。通常の郵便物なら自動検出です。保存先 では、部分を受け取るWorkspaceを選択してください。

3 束を選んで開始

書類一覧で束を選択し、アクション > エージェントとワークフロー > Split と Split Agent経由で実行 を選択します。単一の束の場合は、そこで 対話型ダイアログ を選択してください。

4 Workspaceに結果

各部分は、Workspace内で個別の書類として表示され、そこで AI 処理を受けます。元の束は保管されます。

技術データ

機能	詳細
入力形式	Workspaceの PDF、アップロード、または API 経由のファイル URL
段階	Basic：境界と名前・Premium：さらに種類、日付、送り主・Ultra：さらに AI による推論と監査証跡
ルール	自動、表紙、区切りコード、書類の種類または対象の変更、N ページごと（1-999）、独自ルール
出力	ページ範囲、ファイル名、分割の信頼度付きの部分。Premium からは種類、日付、送り主も
アプリ内	アクション > エージェントとワークフロー > Split ：一つまたは複数の束に対して Split Agent経由で実行、単一の束には 対話型ダイアログ
REST API	POST /documents/split-agent-run・Ultra の実行の監査証跡: GET /documents/split-audit-trail
MCP ツール	po_documents_split_agent_run、po_documents_ai_split、po_documents_split_audit_trail_get

03・実際の活用

束がどこから届いても、 Split Agent が仕分けます。

受付の郵便物

テストランでは、五ページの束のスキヤンが四つの書類になりました。支払督促、二ページの保守契約、解約通知、問い合わせで、それぞれ種類、日付、送り主で名付けられました。

税理事務所の領収書

依頼人は領収書を一つの PDF としてスキヤンします。PDF AI-Splitter が依頼人のWorkspaceに振り分け、その後の処理はそのWorkspaceの AI-DMS の段階に従います。

表紙付きの案件書類

人事書類や案件書類では、「案件表紙」ルールにより、表紙ごとに新しい書類が始まります。フォーム、添付書類、続きのページは、次の表紙まで一緒に残ります。

よくある質問

区切りシートやバーコードは必要ですか？

自動検出では、内容から境界を見つけるため、区切りシートは一切不要です。区切りシート、バーコード、QR コードで作業している場合は、「区切りコード」ルールを選択してください。その場合、白紙の区切りページは取り除かれます。

境界が不確かな場合はどうなりますか？

各部分には分割の信頼度が付きます。不確実な境界のレビューでエージェントに確認キューを選択すると、境界が不確かな書類はステータス「確認が必要」でそこに入ります。確認タスクは Professional プランに含まれます。

Basic、Premium、Ultra の違いは何ですか？

Basic は分割と命名を行います。Premium は書類の種類、日付、送り主を加え、混在した束に推奨されます。Ultra は各部分の AI による推論と、実行の監査証跡を加えます。API と MCP から利用できます。

元の束は保管されますか？

はい。束はWorkspaceに残り、部分は個別の書類として追加されます。

はじめに

今日から最初の束を分割しましょう

app.paperoffice.ai でアカウントを作成し、[Document AI > Split Agent > Split Agent を作成](#) で最初のエージェントを保存して、束を選択してください。Split Agent はすべてのプランに含まれます。

paperoffice.ai/ja/ai-pdf-split-interijentobunsho-bunri



モジュールの詳細

paperoffice.ai/ja/ai-pdf-split-interijentobunsho-bunri

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase